

山行報告

～北アルプス・前穂北尾根～

山名	奥穂高岳
山域	北アルプス 穂高連峰
山行種別	縦走
山行月日	平成23年8月16日(火)前夜発～19日(金)
メンバー	L: 迫 SL: 谷嶋 青木 鈴木(か) 別井(筆者)

コースタイム

- 8月16日 大谷駐車場 22:00 前夜発
- 8月17日 1:30 沢渡駐車場～5:00 仮眠～5:30 駐車場発～6:00 上高地～7:00 明神～8:00 徳沢～9:00 横尾～13:00 涸沢(泊)
- 8月18日 5:00 起床～6:00 発～(パノラマルート・ザイテングラート経由)～9:00 穂高岳山荘～10:00 奥穂山頂～11:00 穂高岳山荘～13:00 涸沢(泊)
- 8月19日 5:00 起床～5:45 発～8:45 横尾～10:00 徳沢～11:00 明神～12:00 上高地～12:30 沢渡駐車場～(入浴・食事等)～20:00 大谷駐車場



— ルート

□8月16日(0日目)

大谷駐車場 21:00 集合、諸事情あり 22:00 発。

谷嶋さんの車に青木さん・鈴木さん、私は迫さんの車に乗せていただく。

車内では、車の話、酒の話…。迫さんのプライベートにグイグイ突っ込みたかったが失敗。帰りまたトライしよう。

高速を降り峠道にさしかかると後続車のアオリに遭う。隣で火が点いた様子。

でも途中で気を使ってくれたのか、道を譲る。別に平気だったのに、悪いことをした。

沢渡駐車場にて、男性陣は車中、女性陣はテントにて仮眠。

□8月17日(1日目)

起床後、装備を確かめる。

ここで私が団体装備品を持ってきていないことが判明。

幸い迫さんが予備を持っていたため事なきを得たが、危うく皆さんに多大なる迷惑をかけるところだった。猛省。

タクシーにて上高地に移動。涸沢に向け出発。



(明神館にて)

まだ青空が覗いているが雲が広がってきている。

草原の広がる徳沢を過ぎ、横尾へ。

ここまで雨が降ったり止んだりだったが本降りに。

屏風岩を左手に見つつ本谷橋へ向かう。ツアーと思しきシニアの団体客が多く見られた。

このあたりで早くも疲労を感じ始める。装備の重さに慣れておらず、準備不足を後悔。私より重いザックを背負う青木さんと鈴木さんを感じした面持ちで眺める。

歩きながら、リーダーの足元を見る。重心のかけ方・移動の仕方、歩の進め方、簡単なようだが難しい。登山道は所々ぬかるみ、岩肌も濡れ滑りやすい状況。

歩き方以外にもザックの背負い方など指導を頂く。ベテランの方と共に歩けることに感謝する。

昼過ぎ、涸沢に到着。

幸いテント設営の際は雨が止んでいた。

男性陣はテント内で休息、女性陣はトークに花を咲かせる。

風が少しあったが一枚羽織ればしのげる程度。



(テン場にて)
盆にしてはさほどの混雑
なし

雲が重く立ち込めている。
る。

明日の天候に期待したが、予報では雨、その上風速13~14mとのこと。

北尾根行きに暗雲…

17時頃より、麻婆春雨と α 米、スープの夕食。温かい…。
テン泊での食料計画について、用意周到・手際のよい青木さんを見て学ぶ。
明日の行動予定について、一度3時に起床し様子を見るとのリーダーの話。
20時頃就寝。

□8月18日(2日目)

夜半より風雨激しさを増し、テントを揺らす。
3時起床、北尾根は断念し、奥穂登頂を目指すことに。もう一度就寝、5時起床。
朝食はミネストローネとパン、コーヒー。豊かな朝食だった。

行動食、環付・スリング持参の軽装にて出発。
止んでいた雨がまたしとしとと降り出す。ザイテングラード取付き点あたりまで来ると下はガスで見えない。

シニアの団体が渋滞、ハシゴ・鎖場で列をなしている。先に行かせてもらい進む。
登るにつれて風雨が強まり、速度が落ちる。ゆっくりと3時間弱かけて穂高岳山荘着。

山荘前で一息ついていると、下から黄色い^{かみしも}袴姿の侍が…、いやあれは、ケ…ケンシロウ!?
疲れで幻覚見たかな、
と思いきやカッパのズボンを肩から掛けている谷嶋さんでした。
恐るべし谷嶋式登山術。

その横でリーダー、「ボクちゃん、疲れちゃったなー♥」
…。

小休止の後山頂目指し出発。

風雨は強まるばかり、予報通りの強烈な風に襲われる。

気を抜くと風にあおられふらつきそうになる。身を低くして慎重に進む。

ここでも渋滞が発生し、団体さんは道を譲ってくれるが苛立ちを隠せないようだ。

悪天候のこんな時こそ焦りや苛立ちは禁物だと感じる。

小一時間で山頂に到達、だが残念ガスで全く視界が利かず。せつかくの北アルプス最高峰からの景観はお預けとなってしまった。

しかしこういう厳しい状況下で進むこともいい経験になる。一步一步噛みしめつつ歩く。

プラス思考でいこう。



(山荘より下山途中)

涸沢方面この視界

山頂付近はもっと真っ白だった。

デジカメが防水でないため不便。防水のものが基本のようだ。

雨のザイテングレードを慎重に下り、13時頃涸沢着。

つかの間雨が止んだところで、皆で涸沢ヒュッテテラスにて休息。

17時夕食。メニューはカレー+α米、マカロニサラダ、スープ。

豪華な夕食にカロリー過多を案じる。

リーダーは夕食後爆睡、その横で谷嶋さん+女性3人で昨日今日を振り返り談笑。

個人的に谷嶋さんの行動・言動がツボにハマる。

明日の好天を期して20時就寝。

□8月19日(3日目)

期待とは裏腹に、一晩中激しい雨が降り続く。

5時起床、朝食は塩ラーメン、スープ。どうして山で食べるとこんなに美味しいんだろう。

雨の中撒収し出発。

昨日に比べると風はだいぶおさまったが雨は止むことなく降り続ける。

横尾までの道のりは、昨日までの雨で登山道が小川状態、ぬかるみもひどい。

途中から先頭が迫さんから谷嶋さんに交代。お二方とも、ゆっくり歩を進める私たちに合わせてくださり、さりげない気遣いもいただき感謝の念に絶えない。

でも鈴木さんはパワフルですごい。小柄な体のどこにそんな力が隠されているのか、感服した。

横尾～徳沢～明神～上高地までは平坦な道のりを1時間弱刻みで進む。

変化が少なく、ややもすると気が抜けて何でもない所をつまづく。疲れてきた時こそ気を引き締めなければ。

予定通り上高地着、タクシーで沢渡駐車場へ、帰路に着く。

20時大谷駐車場着、解散。

ベテランのお二人、女性会員の引率のような合宿だったにも関わらず、いろいろご教示いただき本当にありがとうございました。

一緒に登ってくれた青木さん、鈴木さん、ありがとうございました。

平成23年8月21日